【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成16年12月9日(2004.12.9)

【公開番号】特開2003-98526(P2003-98526A)
【公開日】平成15年4月3日(2003.4.3)
【出願番号】特願2002-261146(P2002-261146)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０２Ｆ　1/13363
　Ｇ０２Ｆ　1/1335
　Ｇ０２Ｆ　1/1343
【ＦＩ】
　Ｇ０２Ｆ　1/13363
　Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１０
　Ｇ０２Ｆ　1/1335　５２０
　Ｇ０２Ｆ　1/1343

【手続補正書】
【提出日】平成15年12月22日(2003.12.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一方基板と他方基板の間に液晶層が挟持され、前記他方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第１の偏光手段と、前記一方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第２の偏光手段とを有する液晶表示装置において、
前記一方基板は反射機能を有する領域と透過機能を有する領域とを備え、
前記第１の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第１の位相差板及び第１の光学補償層と、前記第２の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第２の位相差板とを有することを特徴とする液晶表示装置。
【請求項２】
一方基板と他方基板の間に液晶層が挟持され、前記他方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第１の偏光手段と、前記一方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第２の偏光手段とを有する液晶表示装置において、
前記一方基板は反射機能を有する領域と透過機能を有する領域とを備え、
前記第１の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第１の位相差板と、前記第２の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第２の位相差板とを有し、
前記第１の位相差板はλ／４板に光学補償機能を付加した位相差板であることを特徴とする液晶表示装置。
【請求項３】
前記第２の偏光手段と前記液晶層との間に第２の光学補償層が設けられる請求項１または請求項２に記載の液晶表示装置。
【請求項４】
前記第２の位相差板はλ／４板に光学補償機能を付加した位相差板であることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の液晶表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
【課題を解決するための手段】
本発明は、一方基板と他方基板の間に液晶層が挟持され、前記他方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第１の偏光手段と、前記一方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第２の偏光手段とを有する液晶表示装置において、前記一方基板は反射機能を有する領域と透過機能を有する領域とを備え、前記第１の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第１の位相差板及び第１の光学補償層と、前記第２の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第２の位相差板とを有することを特徴とする液晶表示装置である。
また、一方基板と他方基板の間に液晶層が挟持され、前記他方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第１の偏光手段と、前記一方基板の前記液晶層とは反対の面に設けられた第２の偏光手段とを有する液晶表示装置において、前記一方基板は反射機能を有する領域と透過機能を有する領域とを備え、前記第１の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第１の位相差板と、前記第２の偏光手段と前記液晶層との間に設けられた第２の位相差板とを有し、前記第１の位相差板はλ／４板に光学補償機能を付加した位相差板であることを特徴とする液晶表示装置である。